

質問

0 / その3

施政方針について



竹永 明文 議員

副町長の後任は

竹永 副町長の位置づけと、後任についての考えは。
町長 町行政を推進する上では必要なポストである。単独自立で進まなければならぬ本町としては、再建途上にある中で財政状況等を考えた場合、四月以降設置することが、適当かどうかを改めて検討する。

竹永 前吉留副町長の一番の思いは本町が一刻も早く黒字になることだと思う。

経費削減のため副町長をしばらくの間、空席にするのも一つの方策ではないか。

町長 この職責と財政が今後も続くのかわからないわけで、未来永劫続く本町にするにはどうしたらいいかということも合わせて、後任の副町長をどうするか考えたい。

ケーブルテレビ

導入の方策は

竹永 情報化社会の対応の一つとして、ケーブルテレビの整備についての考えは。

町長 ケーブルテレビは活用次第によっては魅力を感じると思います。しかし、財政再建中の本町で他の事業よりも

優先して行うべきかどうかです。

竹永 今、財政難の本町では、この事業を導入することは不可能であると思っています。

ただ、地上デジタル放送が始まるのが平成二十三年四月からです。

この時期に事業をすると起債は三年間据え置きできるということは、平成二十六年以降に返済が始まるので、財源があつたら、町民サービスのためにケーブルテレビの整備は実施すべきでないか。

町長 全くその通りでして、何もできない、しないとこの時代ではなく計画的な執行が大切と思つています。

今の本町に必要なものは何かを考え、その方法を今、一生懸命模索しているところです。なるべく負担が少ない有利な制度がないかということですね。

西部では本町と江府町だけが導入してないので、国・県も住民サー



古峠山テレビ中継局

ビスができてくるのかと、非常に気をつけて、関心を持ってきています。それから有利な事業があつた時には、すぐに連絡をとって説明にきてくれています。

その様な助けがあつて現在の本町があると、私は心得ていきますので、やらないのではなく、そういうものを考えながら、一步一步前に進んでいきたいと、思っています。

全員協議会

平成二十年五月十二日開催されました。

「リバーサイドひの」の指定管理者募集の経過について報告がありました。

平成二十年四月三十日切の公募で、四社の申し込みがあり、「指定管理者選定委員会」が選定中です。

今後のスケジュールは五月十五日 選定委員会が町長に答申、その後、業者と仮契約を結ぶ。

五月二十六日 臨時議会で、議決、承認。

七月一日 オープン予定。

